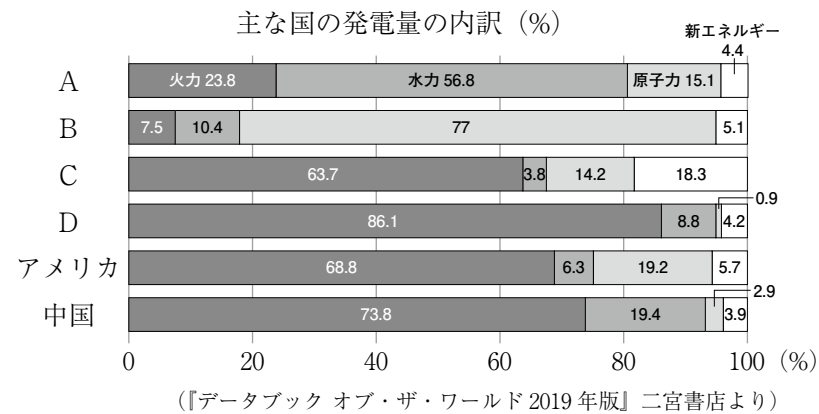


〔4〕 下の文章を読み、あとの15～17に答えなさい。

第4次①エネルギー基本計画の策定から4年、今一度、我が国がエネルギー選択を構想すべき時期に来ている。第5次に当たる今回のエネルギー基本計画では、2030年のエネルギーミックスの確実な実現へ向けた取り組みの更なる強化を行うとともに、新たなエネルギー選択として2050年のエネルギー転換・脱炭素化に向けた挑戦を掲げる。こうした方針とそれに臨む姿勢が、②国・産業・③金融・個人各層の行動として結実し、日本のエネルギーの将来像の具現化につながっていくことを期待する。

(資源エネルギー庁『第5次エネルギー基本計画』より抜粋)

15 下線部①について、次のグラフは主な国の発電量の内訳を示したものです。A～Dに入る国名として正しいものを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選びなさい。



- (ア) A：フランス      B：カナダ      C：日本      D：ドイツ  
 (イ) A：カナダ      B：フランス      C：ドイツ      D：日本  
 (ウ) A：日本      B：ドイツ      C：カナダ      D：フランス  
 (エ) A：ドイツ      B：日本      C：フランス      D：カナダ

16 下線部②に関連して、国家の三要素として誤っているものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選びなさい。

- (ア) 主権      (イ) 国民      (ウ) 法      (エ) 領域

17 下線部③に関連して、金融政策について説明した次の文の(A)～(D)にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選びなさい。

好景気的时候は、消費が拡大し、商品の需要量が増えます。需要量が供給量を上回ると、物価が上がり続ける(A)が起こります。一方で不景気になると、需要量が供給量を下回り、物価が下がり続ける(B)が起こることもあります。

物価の急激な変動は、家計や企業に大きな影響を与えます。そのため、日本銀行は、物価の変動をおさえ、景気の安定化を図るために、金融政策を行います。日本銀行の金融政策は、主に公開市場操作(オペレーション)という方法が採られます。この方法は、(C)のときには日本銀行が銀行が持つ国債などを買い上げ、(D)のときには日本銀行が銀行に国債などを売って、国全体で流通するお金の量を調節することで、景気の安定を図っています。

- (ア) A：デフレーション      B：インフレーション  
 C：不景気      D：好景気  
 (イ) A：インフレーション      B：デフレーション  
 C：不景気      D：好景気  
 (ウ) A：デフレーション      B：インフレーション  
 C：好景気      D：不景気  
 (エ) A：インフレーション      B：デフレーション  
 C：好景気      D：不景気